

第34回 〈ケア〉を考える会-岡山

■日時： **2017年9月9日(土) 14:00~16:30**

■会場：川崎医療福祉大学 本館6階6001演習室

http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/*
 ※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。
 駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)が利用できます(1時間100円)。

■会費：無料。どなたでも参加できます。



■内容

「〈ケア〉を考える」を考える

報告：林 道也 (〈ケア〉考える会-岡山 代表)

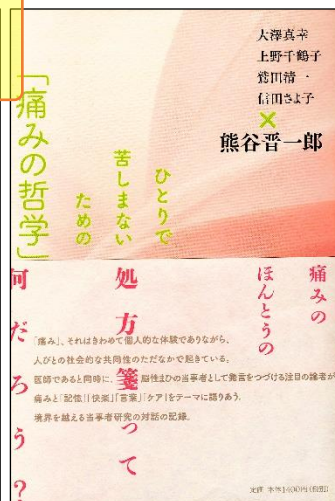
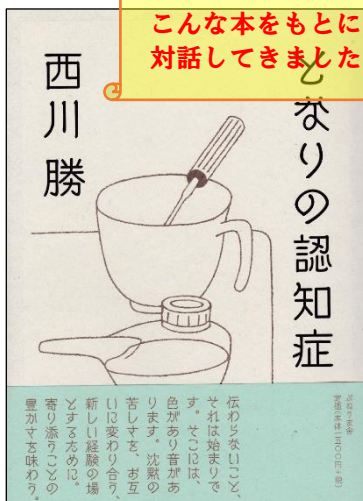
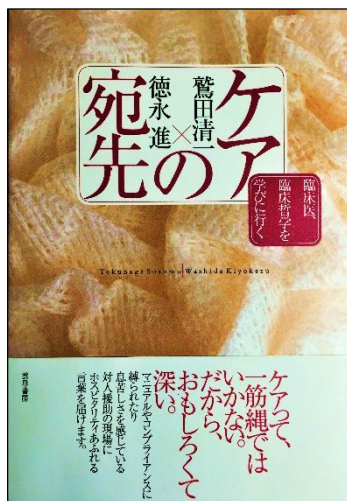
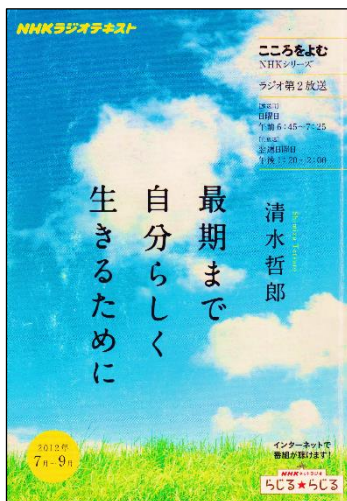
2013年7月に「〈ケア〉を考える会-岡山」の第1回が開催されました。

それから4年が経ちます。

そして、いま、この会のあり方を見つめなおした方がよい時期にきているように思います。

先ず、第1回から33回までを振り返ります。私たちは〈ケア〉をどのように考えてきたのか、何を学んできたのか、今の課題や問題は何か、などについて林から報告します。

そのうえで、〈ケア〉について、「〈ケア〉を考える会-岡山」について、考えていることや、今後の会のあり方などについて話し合います(「対話」)。



■問い合わせ： 884michiya@gmail.com 090-5366-1497 (林)



「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』」という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などにつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。それに、「死生観」、「生」と「死」について、リビングウィル、終末期医療も、〈ケア〉を抜きには考えられません。

この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味からから広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る「場」となることを願います。この会は参加者の“つながり”を大切にします。

※ ホームページ ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>



■ **参考** 第1回から第33回までの内容（敬称略）

- 第1回：20130721 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第2回：20130929 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第3回：20131208 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第4回：20140125 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第5回：20140223 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第6回：20140329 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第7回：20140427 清水哲郎著『最期まで自分らしく生きるために』（NHK 出版）
第8回：20140525 大賀由花「高齢慢性腎臓病患者さんの豊かないのちの実現のために — 透析見合わせを希望した高齢者の事例発表 —」
第9回：20140614 シンポジウム「事前指示」「リビングウィル」とは？～人生の最終段階を考える～
第10回：20140713 林道也「ぼくを鍛えた「じじばば」たち — 私の〈ケア〉の原点 —」
第11回：20140824 河合清志「「寄り添い」の障害者支援～ともに歳を重ねてきた障害者たち～」
第12回：20141005 藤本啓子「「リビングウィル」（事前指示書）とはなにか？」
※リビングウィル作成会…20141101、20141206、20150110、20150207
第13回：20141109 田中順子「障害受容と芸術 — 障害受容からの解放 — 存在を肯定するための“disability-inclusive arts”の提案」
第14回：20141223 平松邦夫「被害者救済と福祉 — 被害者の立場から —」
第15回：20150211 竹中麻由美「患者をめぐる”決定”を考える～医療ソーシャルワーカーとしての経験から～」
第16回：20150412 松川絵里「治療に関する意思決定の難しさ～患者家族の立場から～」
第17回：20150517 青木健太「死について考えることのできる場所 ～絵本をとおした対話から～」
第18回：20150621 菊井和子「「死の受容」について」
第19回：20150823 藤井宗俊「生老病死について」
第20回：20151018 河本佳子「スウェーデンと日本の高齢者ケア」
第21回：20151115 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——「ケアの種」「交感するケア」
第22回：20151223 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——「ベッドサイドからの哲学」
第23回：20160123 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——「ケアを語る流儀と作法」
第24回：20160417 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——「〈死〉の臨床とユーモア」
第25回：20160529 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——「在宅という脈脈」
第26回：20160717 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——「発酵する知」
第27回：20160821 田中順子「パラグアイの日系大家族に見た人間関係」
第28回：20161010 伊藤文雄「家族を支えること～本人を支えるために～」
第29回：20161217 鷺田清一・徳永進 著『ケアの宛先』（雲母書房）——まとめ
第30回：20170109 西川勝著『となりの認知症』（ぷねうま舎）
※20170304 第4回 なんでも相談会総括フォーラム
第31回：20170312 西川勝著『となりの認知症』（ぷねうま舎）
第32回：20170528 熊谷晋一郎他著『ひとりで苦しまないための「痛みの哲学」』（青土社）
第33回：20170729 熊谷晋一郎他著『ひとりで苦しまないための「痛みの哲学」』（青土社）